
IVEAT NEWS LETTER



10月の近況報告

10月はあまり仕事ができませんでした。アメリカにも行けないし、今後の研究所の展開を考える時間はありましたが、なかなか、動けないので、実現できません。

私としては、クラウドベースの読影依頼ポータルを開設し、富士フィルムのDRからボタン一つで、簡単にポータルに送付でき、同時に、簡単な依頼書を書いてもらえるようなシステムができればと思います。

読影については、1日30症例は読影できるだけのキャパシティはあります。また、今後、テレラジオロジーを専門に行う若い獣医師を最後に育てたいとも考えています。

一番の難問は開業医の先生方の診療費の問題です。私が1977年に姫路のバークレー動物病院で松原先生に勤務医としてご指導いただいた時のレントゲン検査料は2枚で6,000円でした。現在の検査料も同じのところも多いようです。私の元に読影依頼をされている先生方は、私の読影料も含まれているので、12,000円になっているようですが、43年前の物価を考えれば、それほど高いとも思えません。やはり、日本では、人医の方で診療費の制限があるため、それも適切な診療費が請求できない原因なのかもしれません。

今年中にはなんとかかしたいと思います。

わからないことなどがあれば、機械の購入の相談も含めて、ご連絡ください。

<http://www.iveat.jp/index.html>

メール連絡先：iveat@icloud.com

電話連絡先： 090-5932-1560



今後のセミナー

コロナ感染症の状況は一進一退なので、赤間本社での超音波実習はなかなか実現できていません。今月の前半に感染状況を参考にし、11月末か12月初めに再開しようと思います。

また、セミナーはオンラインでできないかと考えています。それよりも現在、悪戦苦闘しているYouTubeの講義を全て終わらせたいと思います。これは日本獣医画像診断学会の検定医試験を受けられる方の参考にもなると思いますし、各獣医大学での学生の方には聞いていただきたい講義であると思います。

インターネットラウンドは受付中です。

クレモンス先生の神経学講座は来年からになると思います。
